

神戸市一般廃棄物処理基本計画改定に係る第1回専門部会

【論点整理】

※ページ番号は議事録の記載ページ

I. アンケート

- ①フェイスシートに誰の「年代」を記入するか（藤原副部会長 p.10）
- ②年代別の回収率を集計すること（藤原副部会長 p.11）
- ③ごみ問題に関心のない層に関して、分析を行うこと（小島委員 p.11）
- ④ルール違反者や高齢者に関して、分析を行うこと（中野部会長 p.11）
- ⑤古紙排出方法に関して、回答者の選択肢に地域的制限がある場合、集計に反映すること（寺下委員 p.10）
- ⑥「もったいない」がどれだけ浸透したか（意識の変化）（藤原副部会長 p.2）

II. 現行計画の事後評価

- ⑦実績数値の確認、資源化量の把握（藤原副部会長 p.7）
- ⑧ごみ発生量減少の要因分析（小島委員 p.2）
- ⑨「もったいない」がどこまで進んだか（減量化目標の達成状況）（藤原副部会長 p.1）

III. 検討課題

1. 循環型社会構築のための基盤づくり

- ⑩事業者の役割として、消費者（利用者）に対する継続的な普及啓発の必要性（寺下委員 p.6）
- ⑪様々な立場の市民からの意見収集手法の検討（黒坂委員 p.7）
- ⑫子どもへの環境教育の検討（黒坂委員 p.7）
- ⑬計画の周知方法の検討（黒坂委員 p.8）

2. 2R（リデュース・リユース）の推進

- ⑭2R推進のための具体的手法の検討（中野部会長 p.1）
- ⑮事業系ごみ有料指定袋制度の効果分析と価格見直し要否の検討（鳥越委員 p.5・藤原副部会長 p.6）
- ⑯事業系ごみ有料指定袋制度の運用課題（ごみ排出量とごみ処理量がリンクしていない等）の解決（藤原副部会長 p.8）
- ⑰店頭回収に取り組む事業者への支援の検討（寺下委員 p.6）

3. 再生利用（リサイクル）の推進

- ⑱容器包装プラスチックの分け方・出し方への理解促進（中野部会長 p.1・玉田委員 p.3）

⑲安価でリサイクルできる仕組みの検討（寺下委員 p.5）

4. 環境負荷の低減に配慮した適正処理の推進

⑳家庭系ごみ指定袋制度（有料化ではないこと）の理解促進（中野部会長 p.1）

㉑地縁のない新規住民のごみ出しルール違反解消、自治会参加の推進（後藤委員 p.3・奈良山委員 p.4）

㉒商店街における店舗併設型集合住宅入居住民のごみ出しルール違反解消（奈良山委員 p.4）

㉓店舗付き住宅における事業系ごみと家庭系ごみの明確化（奈良山委員 p.4）

㉔高齢者へのリサイクルルールの理解促進（寺下委員 p.6・黒坂委員 p.8）

IV. 将来目標

㉕さらに「もったいない」を進められるか（さらなる減量化の可能性）（藤原副部会長 p.2、p.6）

㉖社会情勢を踏まえた将来予測と絶対的な目標設定（藤原副部会長 p.7）

㉗施設整備等に関する長期的・総合的方向性の検討（藤原副部会長 p.7）